



1181  
1

三ノ入





好  
車  
之  
歌

初編上

特 別  
~ 13  
1181  
1

待  
13  
1181  
1

明治二十七年一月二日  
加内海松良平



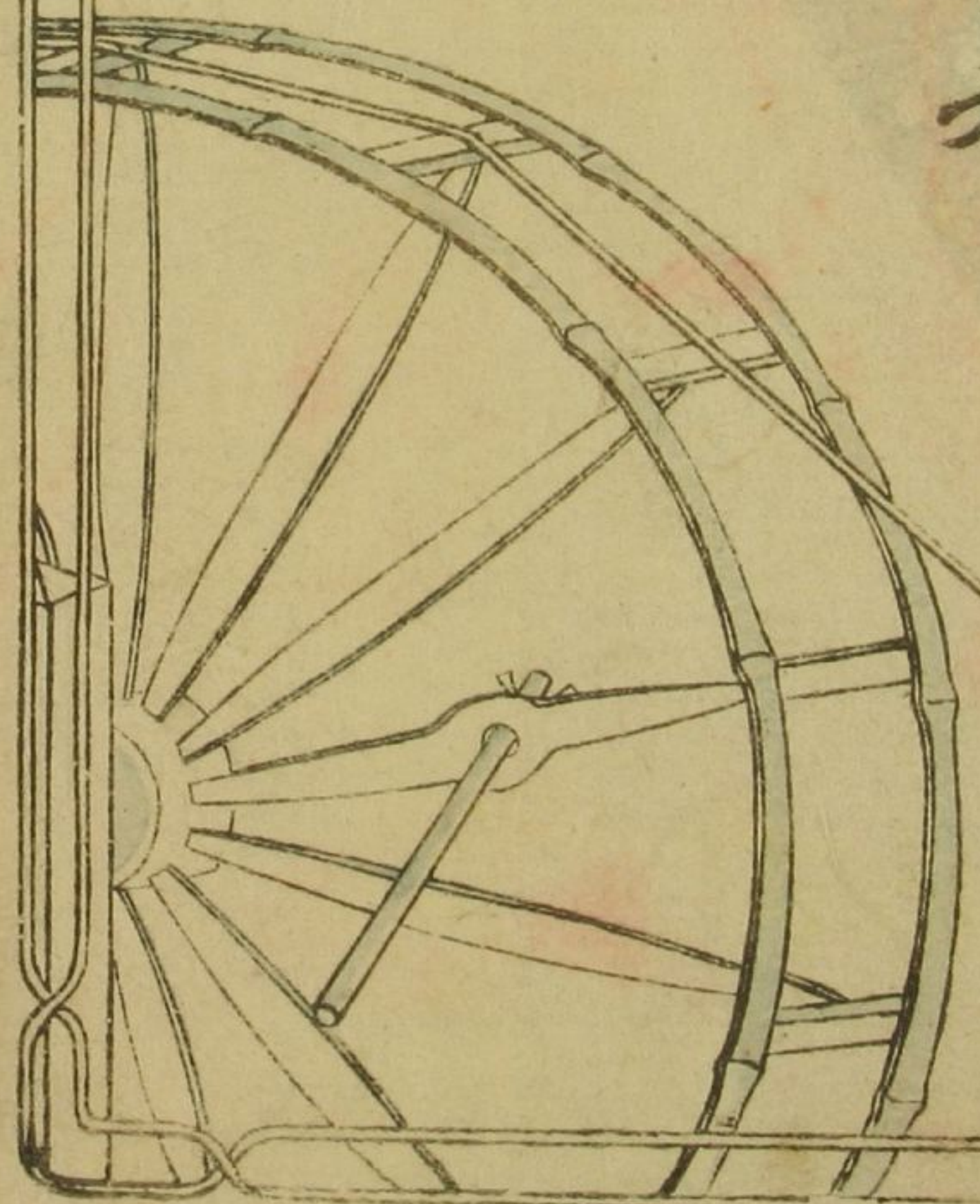
臺唄抄と車

初集上卷

柳下亭作

梅蝶樓画

經榮  
大庫



是ハ一輛の車也志林ハ所謂黄帝ガ涿鹿野ハ製セシ指南  
 車トシテ東西ハ非ハ海東諸國記の中ハ載セテ天武帝ガ造セ玉ル  
 屋形車トモ又異マテ裨官者流ガ筆頭ハ成弥説奇話の妙々車  
 初集ハ然ルモ雪車ぞ引ルル越路の玄冬の談ハ発リ因果ハめ々々  
 水車ハ又ハ字と添ハテ暖簾ハ定業を示シ糸ハ松車の佛説ハ  
 うれシモ其トシテ既庫車の時代話の耳底ハ在リハ火車復讎案  
 細手車のひもハミミハ輪廻應報の談端トシ例の戲墨の策  
 子ハ綴リ鳩車ハ代テ無鬚總角の弄翫の料トシテハふあん

嘉永卯華歳

柳下亭種員識



少々車切

出羽國羽黒山の  
仕者三光坊

妙々道人



全  
遠行坊

妙々道人の其生所年齒を知らず者あり平日小諸國小錫と鳴又高山灵岳小修行と世人密にお事あり時とて鉄の轡を兼羽州羽黒山の犬狗三光坊遠行坊是小薩従て雲中を行と故小聖車とも鉄車仙とも別称と或言彼所の月山羽黒湯殿の三山と踏開むる能除大子の再来なりと僧道徳の驗ハ卷中ハ微細説ベシ

少々直勿





兩個夢中  
義女と挑む

悪賊  
魔度六



曲直の

傾城  
玉苗

曲直の

孝子  
志度六



大和國  
五條御  
湯國寺の  
礦人番助



越後國  
魚沼郡  
雷邑小居住  
山楯師度九郎  
妻荒栲

和州五條の商客  
水島右郎右衛門  
殿女王枝

曲方五條





あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら

のちをいひて  
まふふふふふ  
ふふふふふ  
ふふふふふ

あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら  
あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら



あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら  
あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら

あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら  
あはれおぼし  
ふたつをいふ  
しんがら

少々車刀





山の中  
とある  
この  
廿八日

この山の中  
とある  
この  
廿八日

この山の中  
とある  
この  
廿八日



この山の中  
とある  
この  
廿八日

この山の中  
とある  
この  
廿八日



このあつちのあつち  
 たけまつて  
 かりろるでこお  
 なのみともいふ  
 ありとれはま



あつちのあつち  
 たけまつて  
 かりろるでこお  
 なのみともいふ  
 ありとれはま

あつちのあつち

あつちのあつち  
 たけまつて  
 かりろるでこお  
 なのみともいふ  
 ありとれはま



あつちのあつち  
 たけまつて  
 かりろるでこお  
 なのみともいふ  
 ありとれはま

Handwritten text in the top left corner of the left page, possibly a title or header.



Vertical handwritten text on the left side of the left page, adjacent to the landscape sketch.

Main block of handwritten text in the upper right quadrant of the left page.



Main block of handwritten text in the upper left quadrant of the right page.

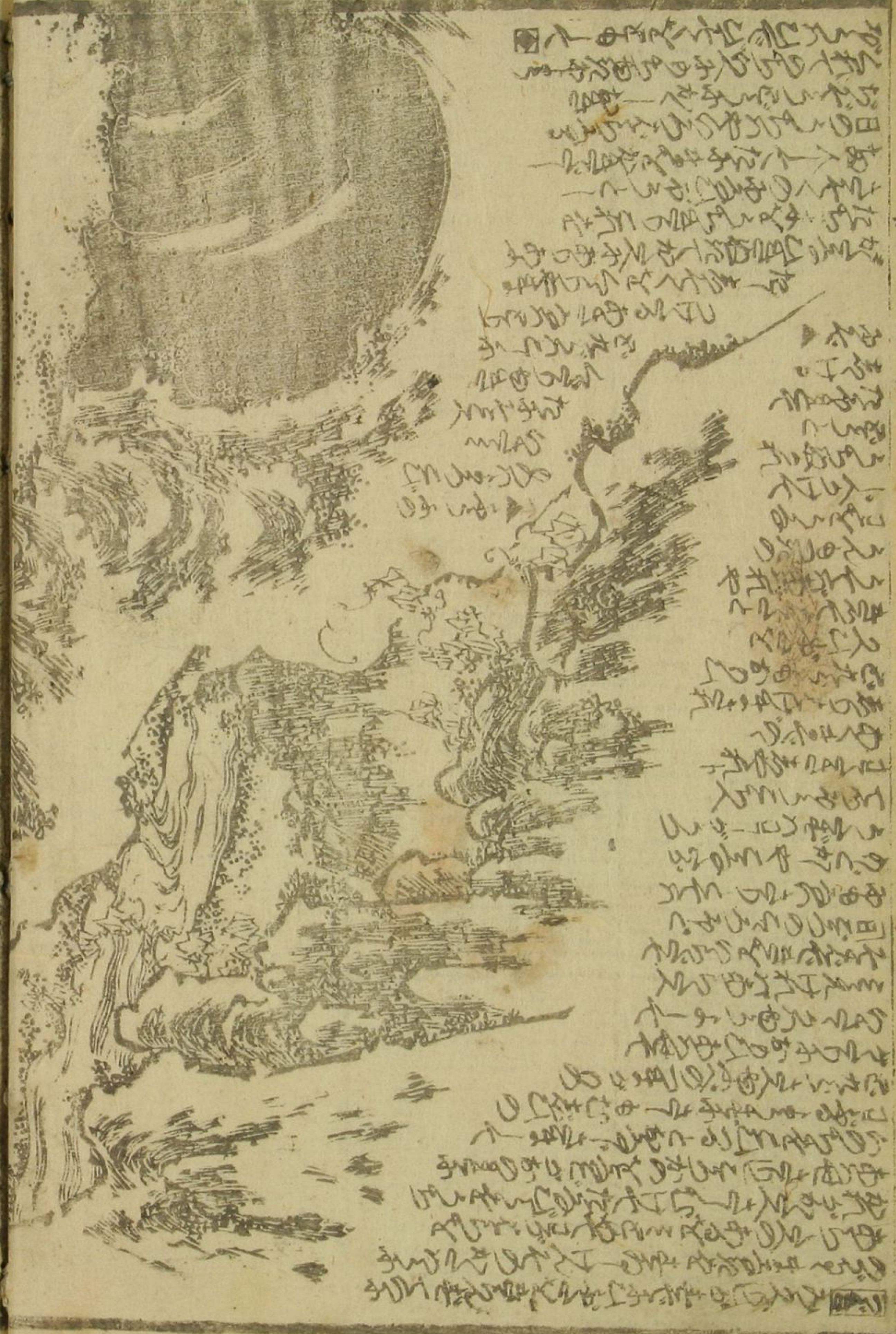


Main block of handwritten text on the right page, with a decorative border of pine-like trees on the right side.

少々車切



Multiple columns of handwritten text in a cursive script, likely Japanese, interspersed with the bear illustration.



Multiple columns of handwritten text in a cursive script, likely Japanese, interspersed with the landscape illustration.

Vertical text on the right margin of the second page.

かみきり



種員作國貞画

あはれも  
いそぎも  
あはれも  
いそぎも  
あはれも  
いそぎも  
あはれも  
いそぎも  
あはれも  
いそぎも

藤王堂生肌膏 廿六丸

推賢奇功紙 廿四丸

この膏は皮膚を潤し、  
かゆみや腫れを治す。  
紙は、  
かぜや頭痛を治す。  
製法は、  
新吉原王様  
御所下亭

袖免痛積湯

せんきののゆき糸

御用藥所

信州上田東

實母散

本家

七ふらぎの葛飾譚

昔來本所... 作者の構思... 柳寛のやま...



種  
貞  
画

初編下

紅英半棒

外題曲五國出











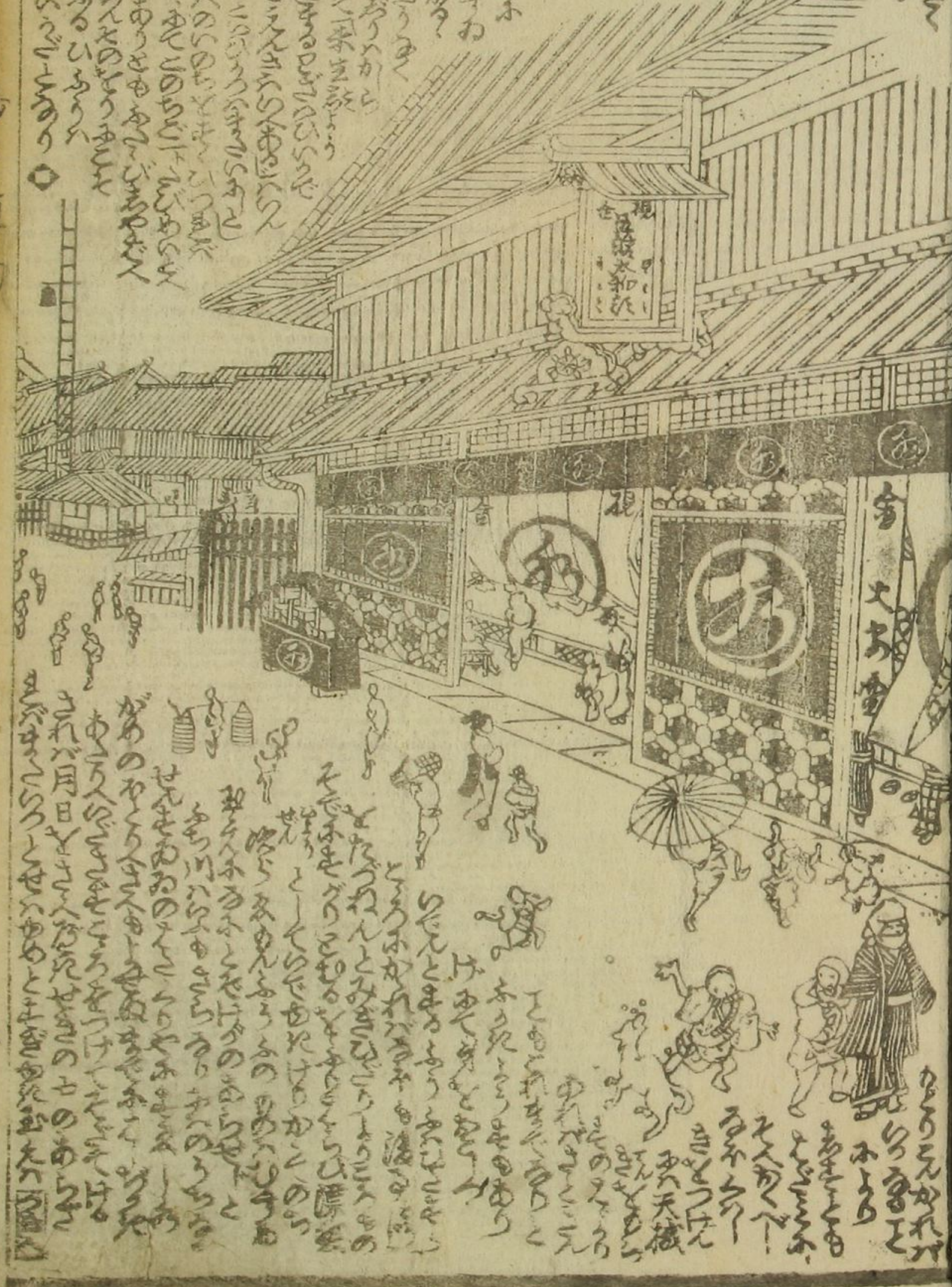


さあさあ  
とさあ  
のん  
ちんちん  
のんちんちん  
のんちんちんちん  
のんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん



業因坊ふりまひて  
川やまらふりまひて

さあさあ  
とさあ  
のん  
ちんちん  
のんちんちん  
のんちんちんちん  
のんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん



さあさあ  
とさあ  
のん  
ちんちん  
のんちんちん  
のんちんちんちん  
のんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん  
のんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん





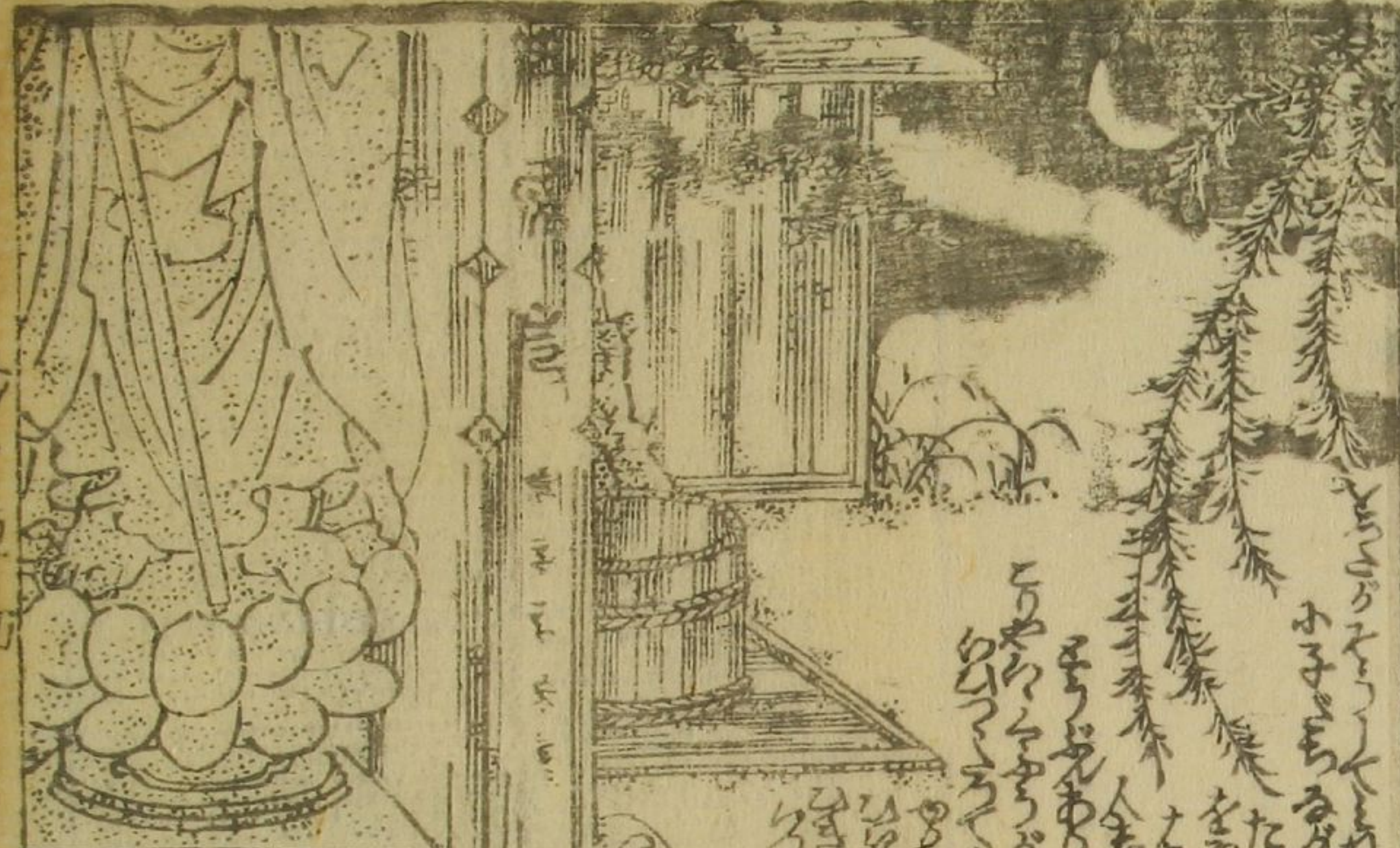
Handwritten text in Japanese characters, including the title 'お茶の湯' (Tea Room) and various annotations describing the scene and the woman's actions.



Handwritten text in Japanese characters, including the title 'お茶の湯' (Tea Room) and various annotations describing the scene and the man's actions.







お子さへも...  
 こころを...  
 ひたひた...  
 ...

...  
 ...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...



室町源氏胡蝶卷

新編九尾傳

假名情談戀睡倉

童謡妙々車

薄倖幻日記

地本双紙問屋

種員作國貞画

筆海四國

明鏡

花外

大鏡

屋吉藏板



妙々車

あつとてなせしむかきり  
 りこのどくふらうおたひ  
 まごころのわらわこもふ

第二編の出来事と  
 ともふ出板仕の  
 なる所衆  
 内一話  
 上ひ



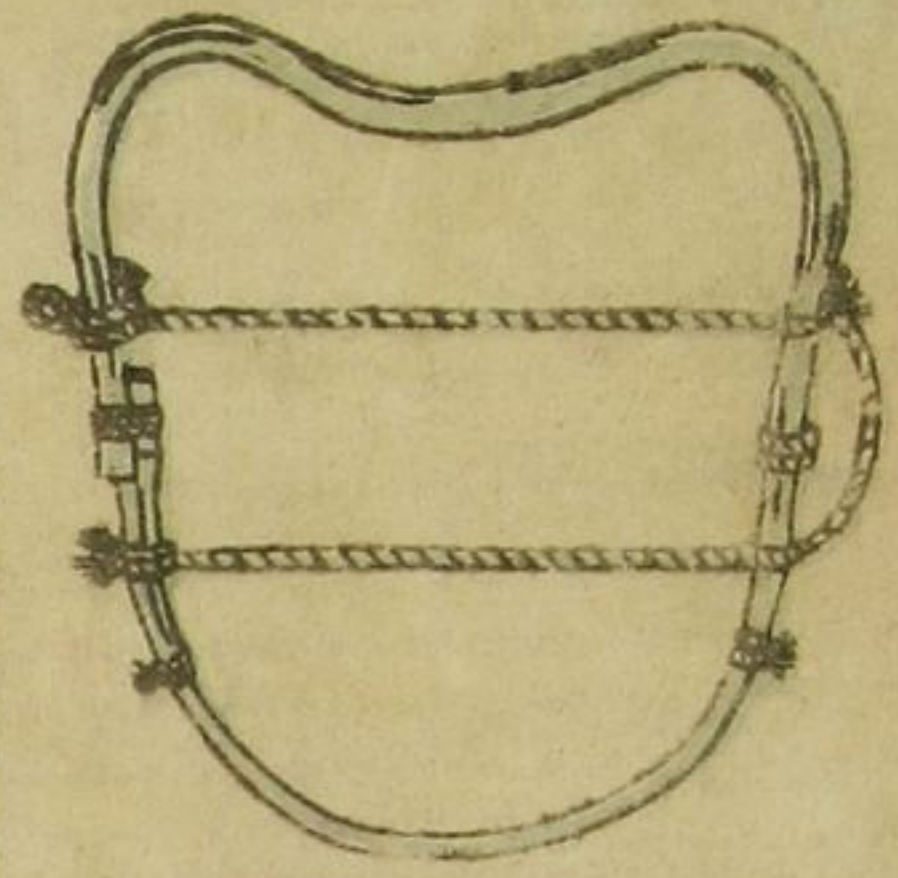
一編上

紅英子様

狂題曲立同巻

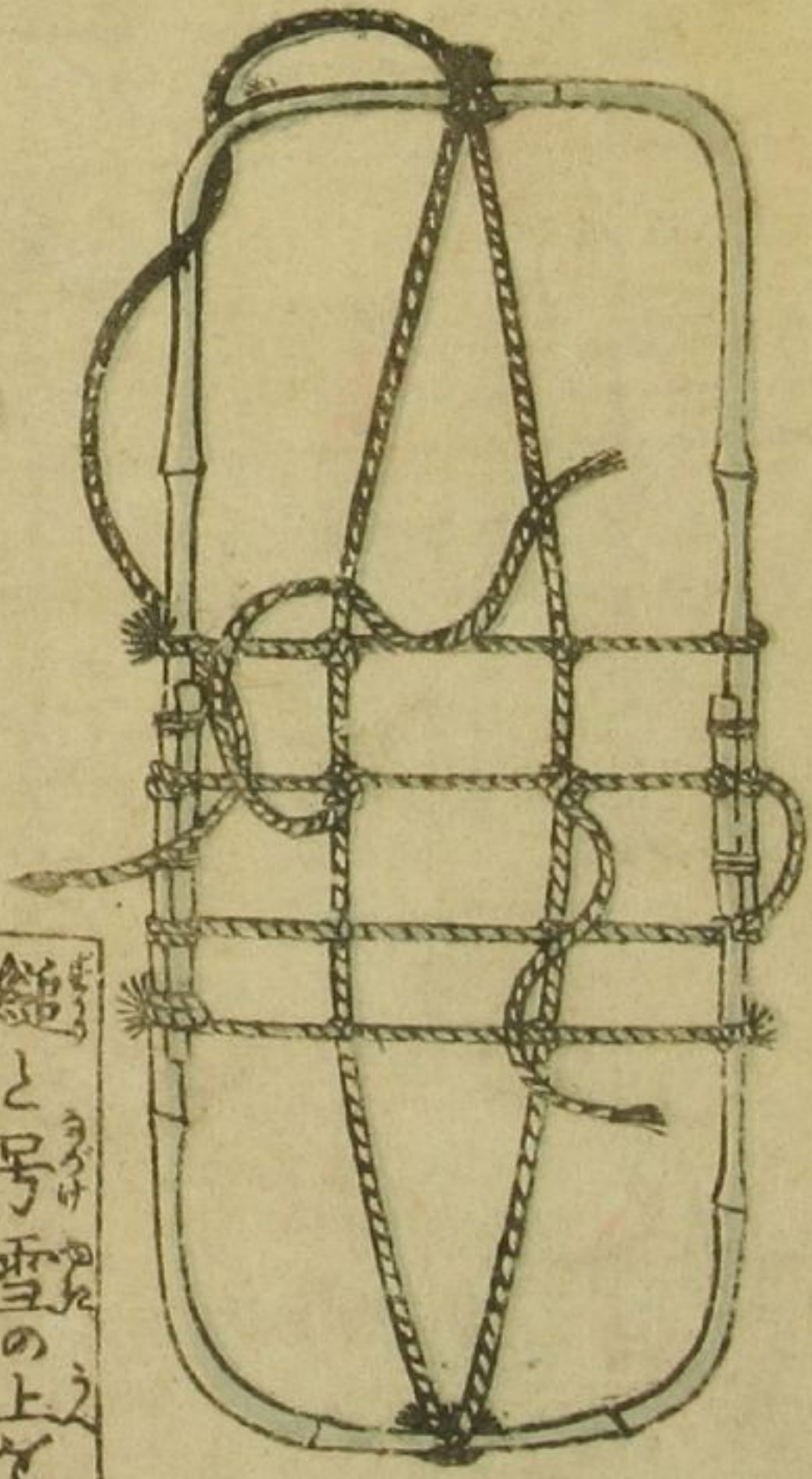
蘇州





杖と呼雪中  
歩行の具なり

童謡妙車第貳集上冊  
柳下亭著述梅蝶樓圖畫



繩と号雪の上と  
度る具なり

五月や  
嵐うき海  
空車の中

此稗史の題号と妙車と蒙らるる巻中小鉄車仙と呼ぶ奇僧と載る  
故と以て然号する許は非を善惡の應報有哉車の西輪の廻るが如しと  
引ける譬諭小本處に彼大和の商客なる水島某が水死を乞ふ男女を救  
了善事小水難の相ある已女の不思議小蘆生しつる話越後此  
山獵師度九郎夫妻が年來の惡事小家小兒子を生ぜ談譜岐の  
農夫兩相七が子と捨る黄金を得返て身小禍を醸し同郷の漁夫浦作が  
黄金と失ひ良子と捨る杯總て吉凶禍福の至理を説尺しつる遙の後編小  
ハ勝母小車と還る志度が孝道徑蹊小横車と遣る魔度が無道  
善惡兩輪の廻るを教諭しれハ昔の童謡めりし車の表題空  
からぐ願ふハ四方の令童達玉掌小採る見玉つんと希而已

嘉永し卯一止月  
柳下亭種員記

少々巨二編





飯野山

道福寺

魚夫  
浦作

出立回魚



弥谷

讃岐國厚風  
浦の海中の  
観音大士の  
余慶  
天像と感得  
とる

婦妻  
潜

女  
二  
糸



松尾又

山獵師  
度九郎  
子  
度六

少  
五  
一  
編



湯谷

大湯邑

越後國雷邑の  
山獵師年來の  
悪報小依り  
余小凶子を  
生

越後國

如  
々  
車  
二  
編



佐太天神

鳩塚

五條の商客  
水島  
治郎  
右門

大海屋の  
召仕  
於露

申の國



闇行越

野崎観音

大和國

攝州  
長柄の廻船宿  
大海屋の  
召仕霜ヒ

陽報  
激懲  
撮津國嬰  
不情死の殿  
を救ふ我  
子の水難を免

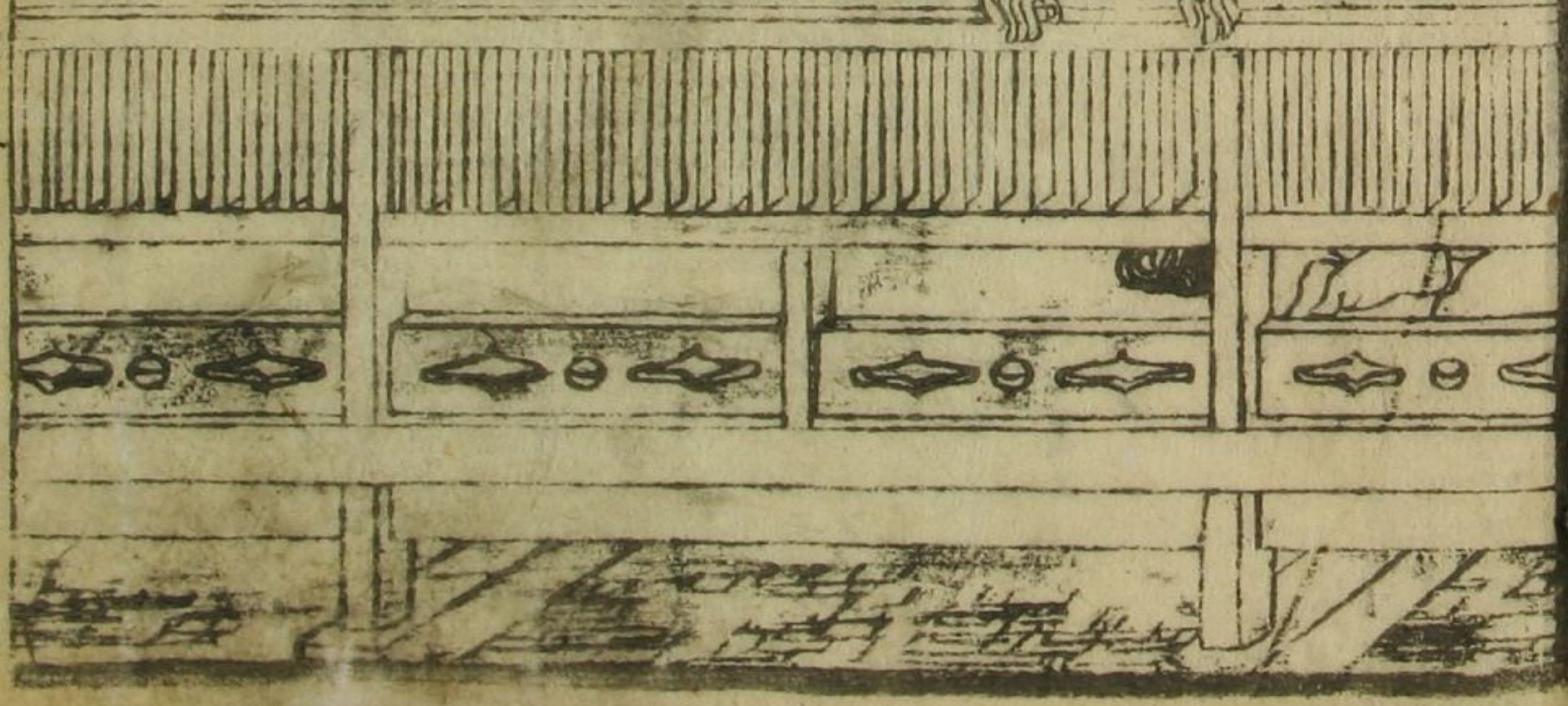
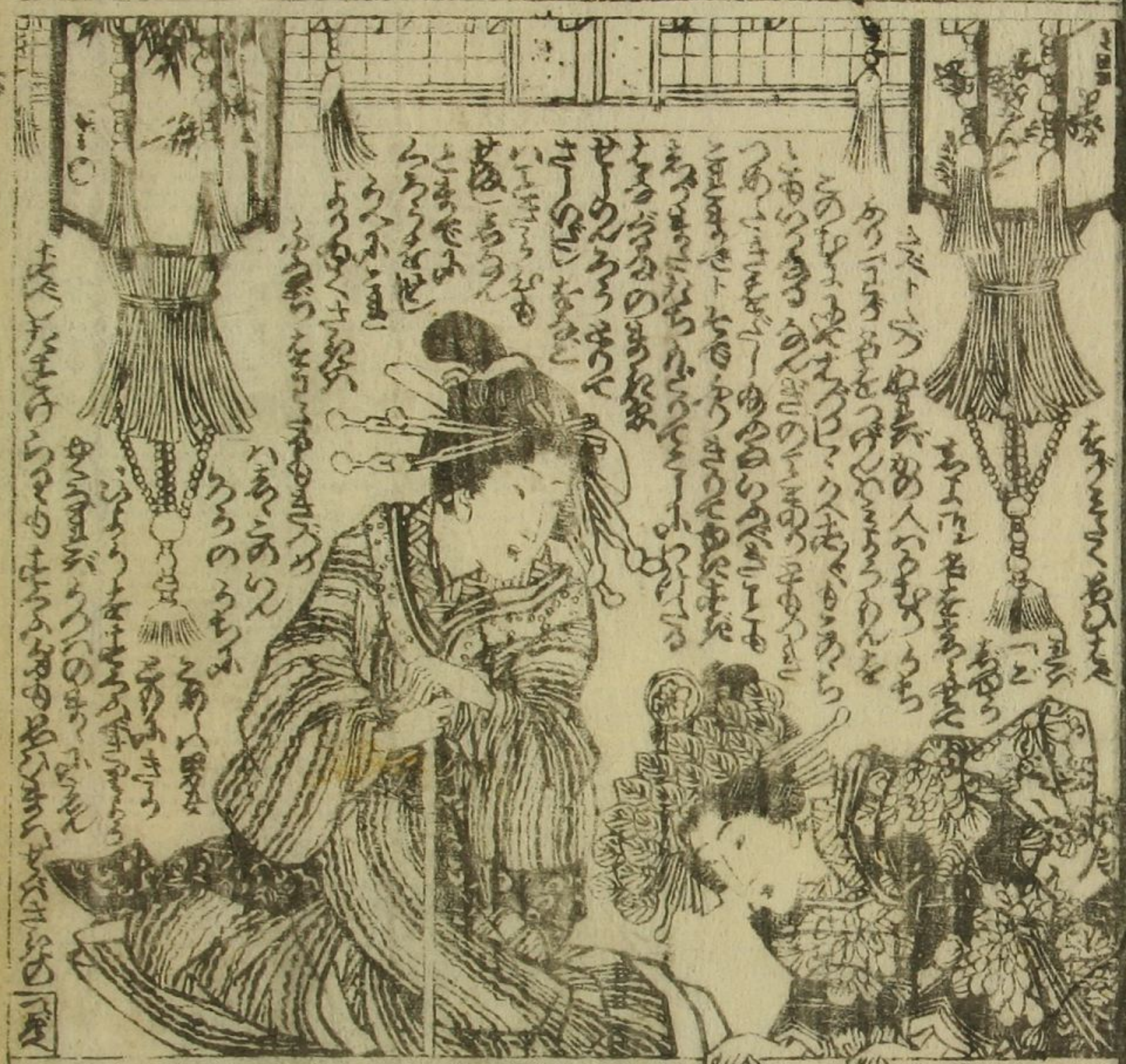
東京  
餘  
香





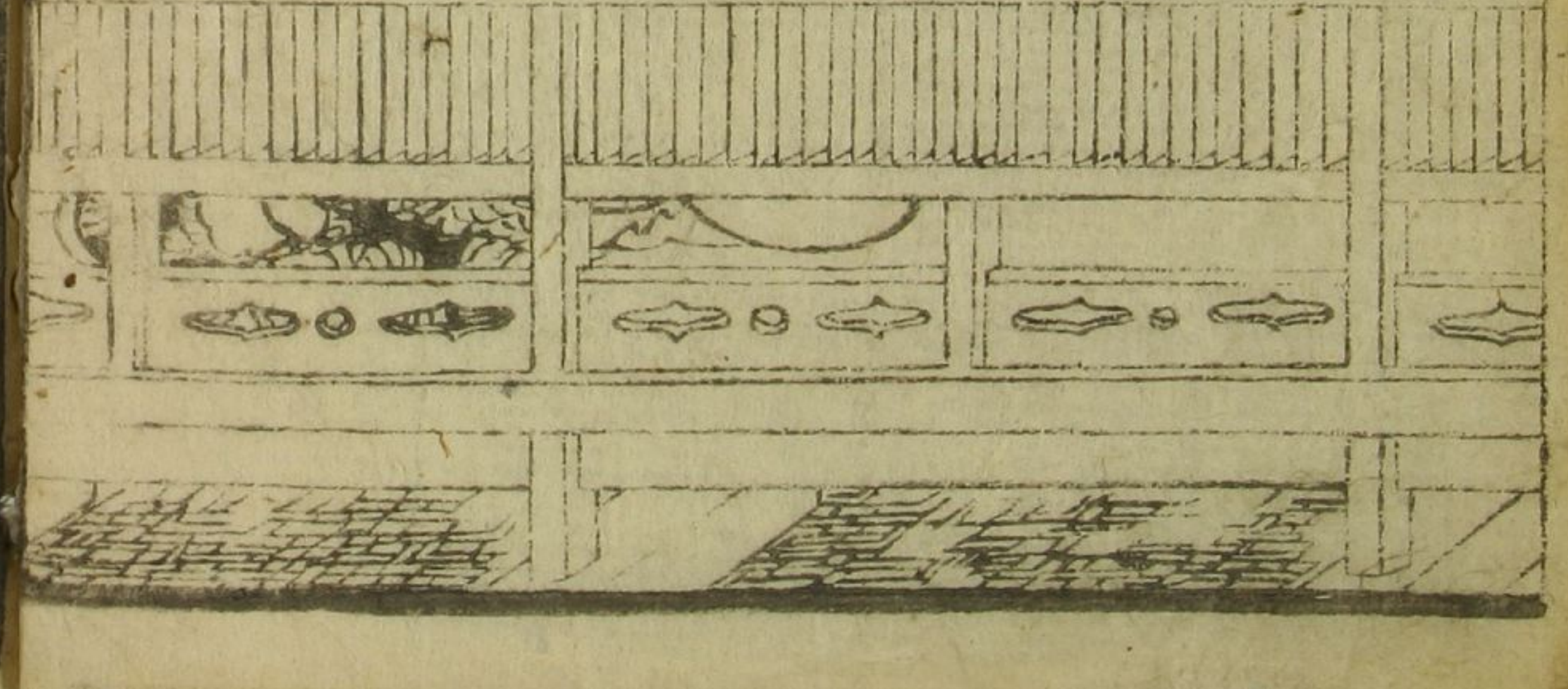
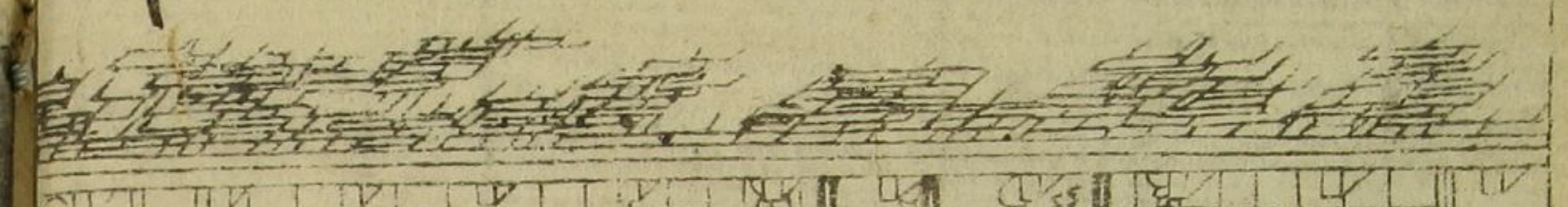






Vertical text on the left margin of the left page.

Large blocks of vertical Japanese text interspersed with the illustration on the left page.



Vertical text on the right margin of the right page.

Large blocks of vertical Japanese text interspersed with the illustration on the right page.

Handwritten text at the top of the left page, likely a title or introductory text.

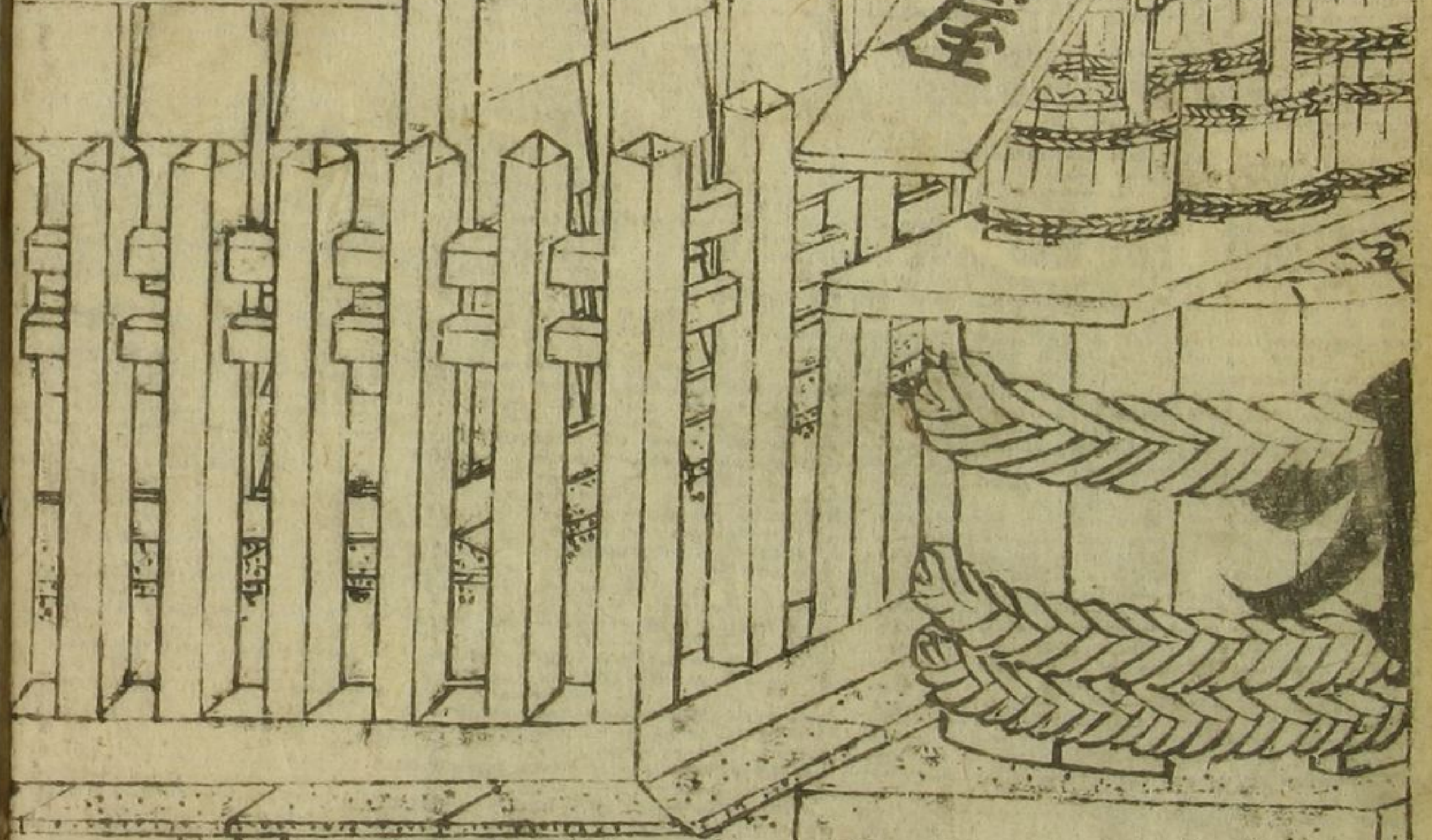
Vertical columns of handwritten text on the left side of the page, positioned above the illustration.



Vertical columns of handwritten text on the left side of the page, positioned below the illustration.

Handwritten text at the top of the right page, likely a title or introductory text.

Vertical columns of handwritten text on the right side of the page, positioned above the illustration.



Vertical columns of handwritten text on the right side of the page, positioned below the illustration.



Vertical columns of Japanese text on the left side of the page, likely a commentary or a poem related to the illustration.

Vertical columns of Japanese text on the right side of the page, continuing the commentary or poem.



Vertical columns of Japanese text on the left side of the page, likely a commentary or a poem related to the illustration.

Vertical columns of Japanese text on the right side of the page, continuing the commentary or poem.

如の如く

此の如く... 御免痛積湯... 信州上田東山堂製



# 種員作國貞畫



三の巻... 種彦作國貞畫

御免痛積湯 せんきの妙茶  
御用薬所 信州上田東山堂製

一包 四十八銅  
二包 廿四銅

## 實母散

私方実母さんの... 葉堂孝輔製

## 七ふらぎ葛飾譚

自初編到五編當り冬賣出  
六篇以下引讀賣出 申  
種彦作國貞畫

古来本所... 作者の構思當年... 實の遍く... 極ゆる御覽の... 紅英堂敬白

二編下

程多記  
園

車

物





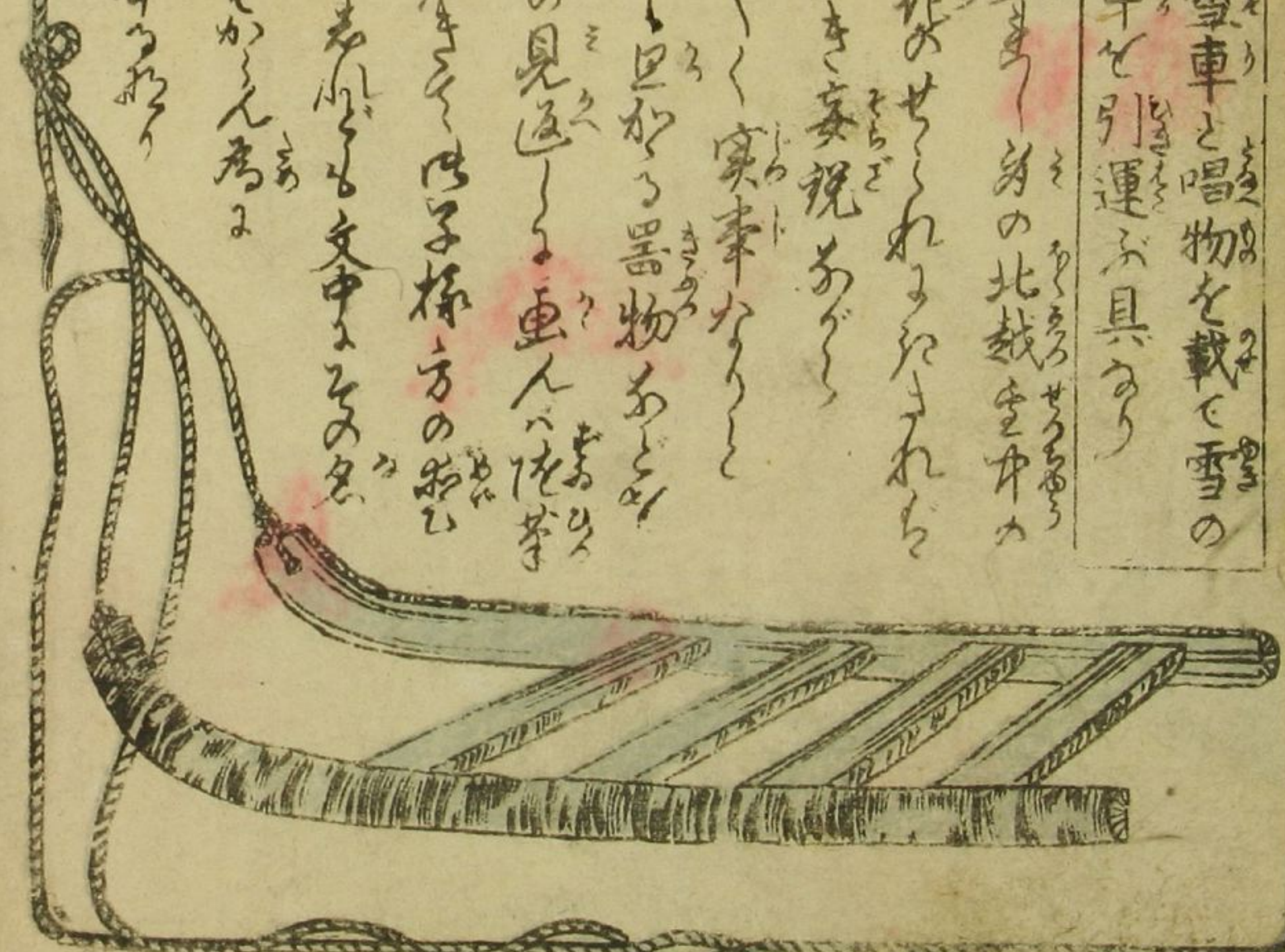
此の巻の道は...  
 中...  
 左...  
 右...

紅英堂考吉板  
 種員作國文重  
 車貞之篇下冊  
 一ノ頃めり

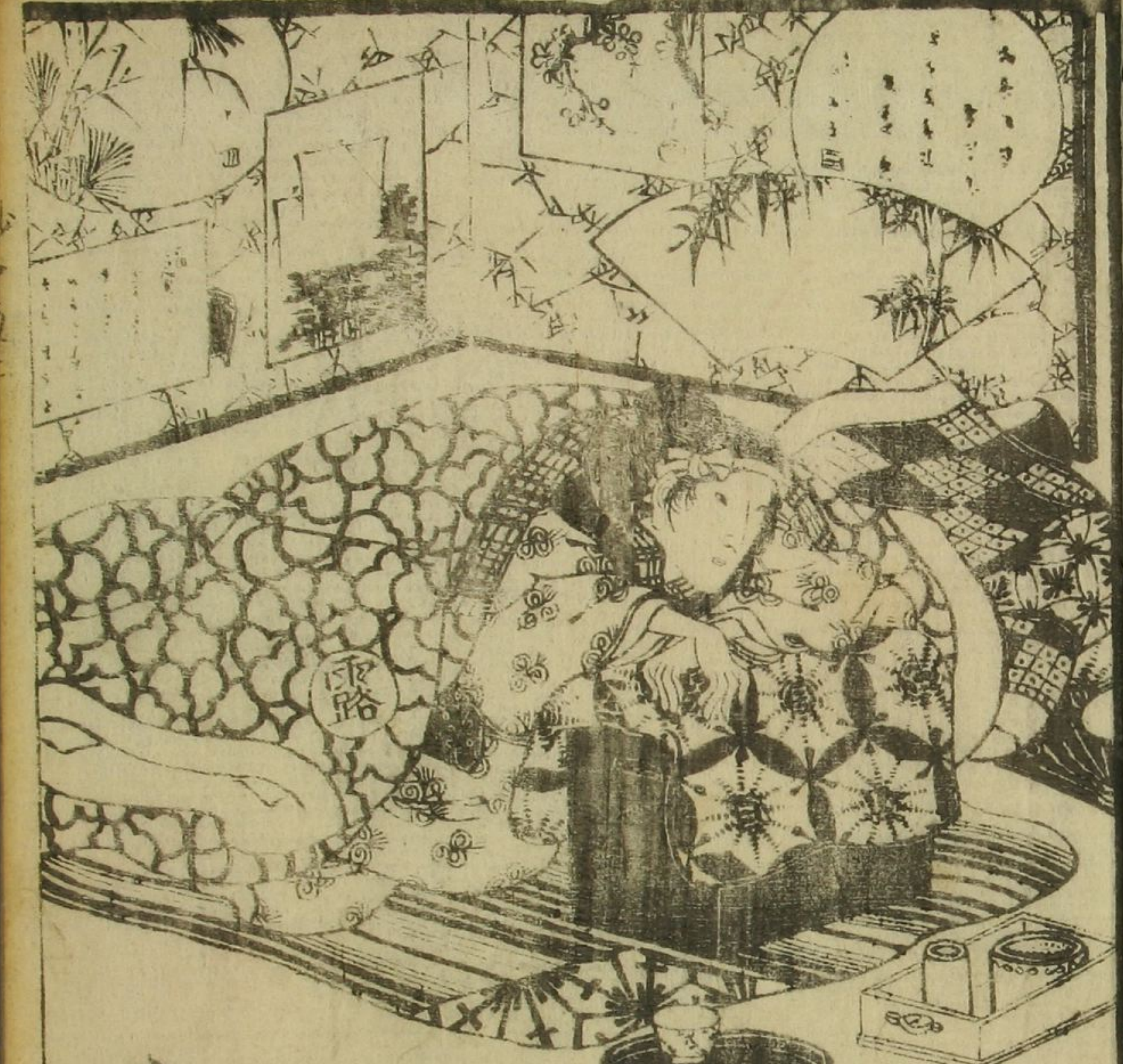
種貞白ゆゑありて夫保已...  
 季秋より翌年の仲春迄...  
 往返をることなす及べり...  
 俸を目前...  
 彼國の季候を以て...

雪車と唱物を載て雪の  
 中を引運ぶ具あり

知一めをべし思はる器物あり...  
 とのよりの見返り...  
 出づる...  
 わしハ解かぬ人...  
 巻端ノ圖ヤ奉る...



つぎのそのをいじりてうら...  
つらとあゆみあゆみあゆみ...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...



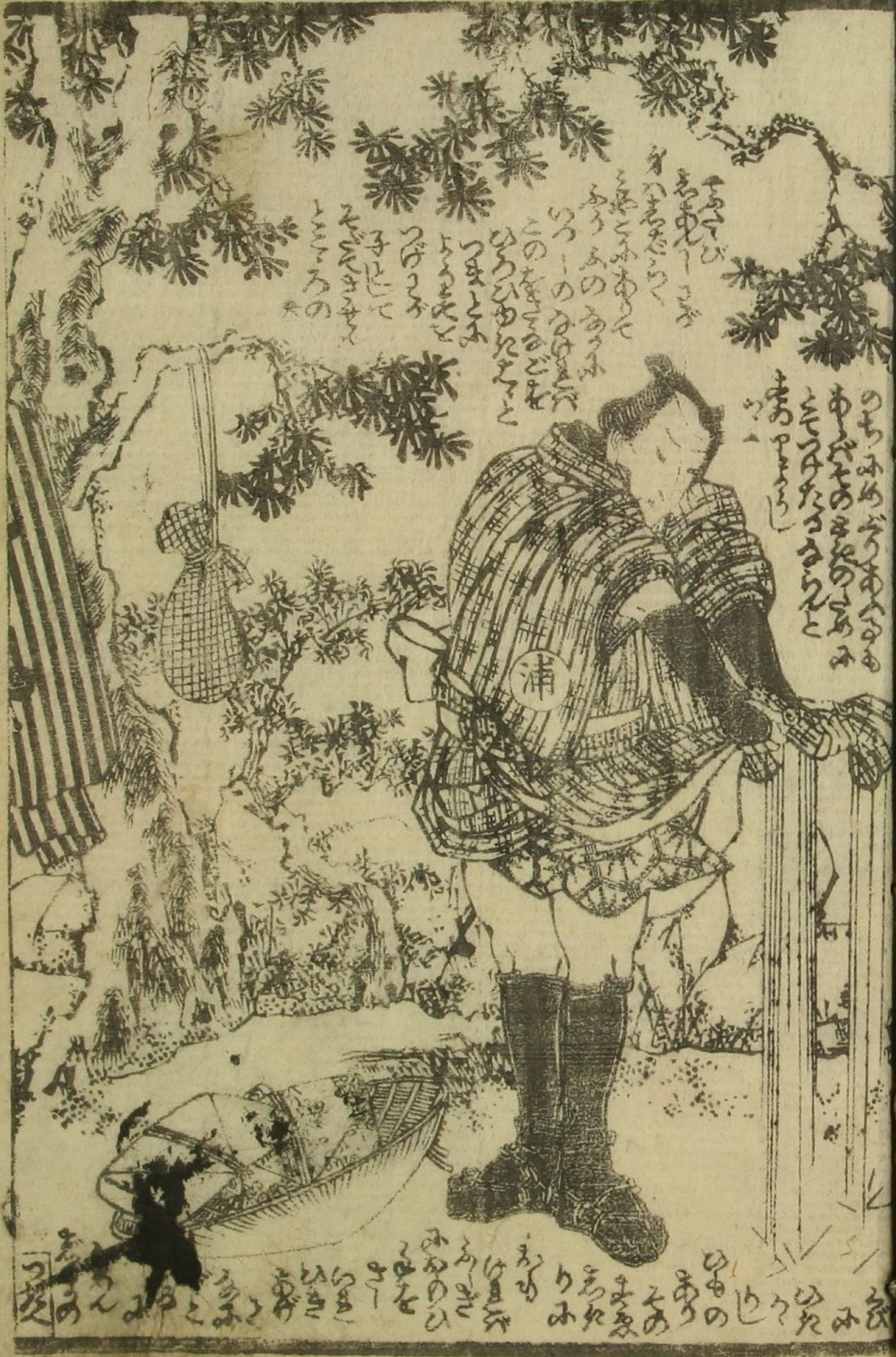
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...



製藥所 新吉原 柳下亭  
取次 明 淺草 今戶  
此の外科...  
金癒奇功紙...  
王盡生肌膏...  
のどきりのま一切のま...  
もとびのうみつのれを...  
かしこまをたのむ...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...  
あやのあやのあやのあや...







ついでに... (Vertical text at the bottom left of the left page)

あつちの... (Vertical text at the bottom right of the right page)







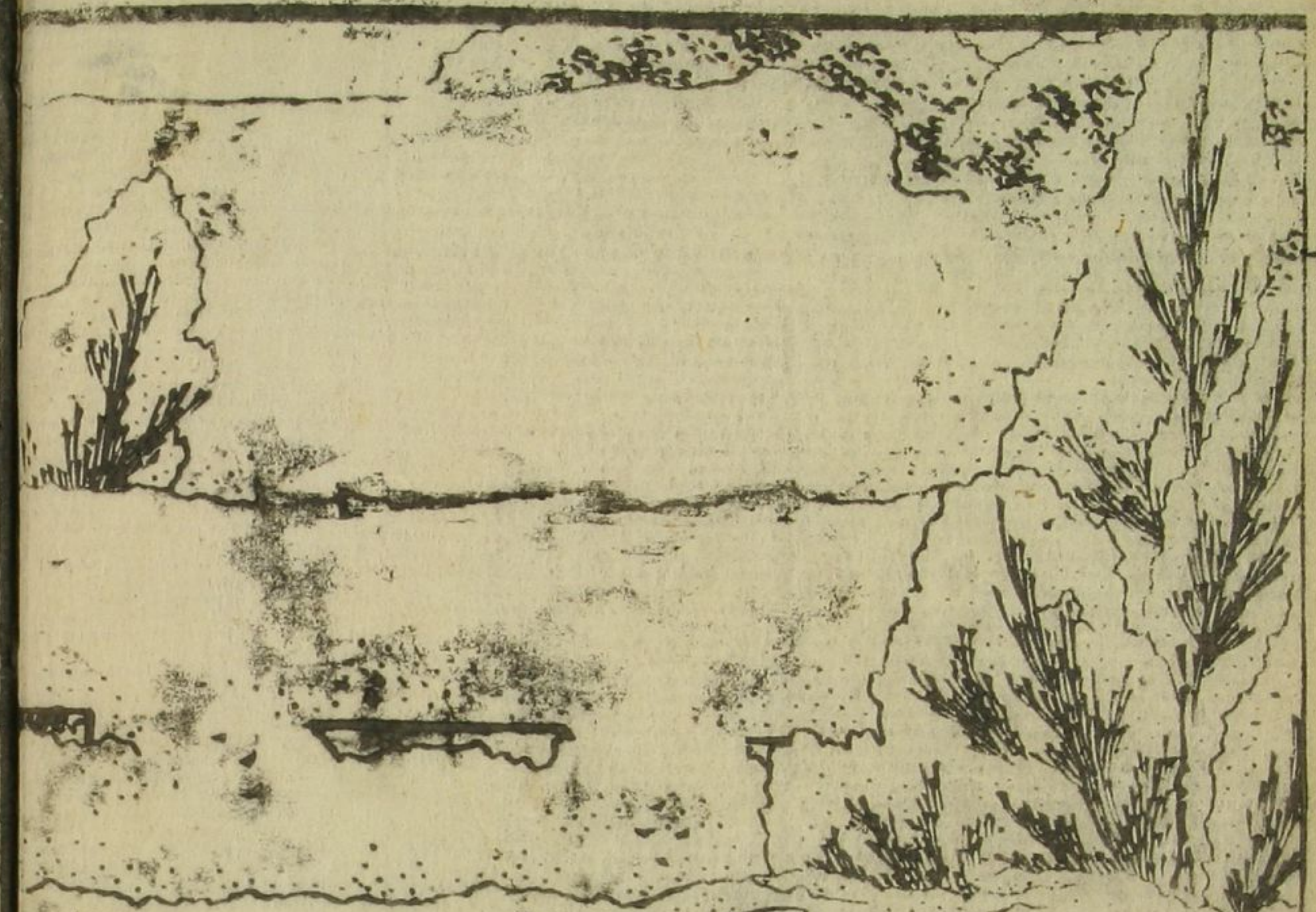
九  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一



九  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一

越路の  
 冬の  
 体

九  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一



九  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一

九  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一

九  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一







種員作國貞画



湯ノ谷道  
佐名志川

室町源氏胡蝶卷

五編より  
八編まで出版  
柳亭種彦作  
梅蝶樓國貞画

新編九尾傳

為永春水作  
梅蝶樓國貞画

假名情談戀睡倉

三編 如泉作  
四編 國貞画

童謡妙々車

十八編 種彦作  
十九編 國貞画

薄倂幻日記

十三編 春水作  
十四編 國貞画

筆海四國聞書

八編 種彦作  
九編 國貞画

明鶴墨画廻福檔

九編 種彦作  
十一編 國貞画

花封苔玉章

九編 種彦作  
十編 國貞画

犬傳犬の双紙

早七編 柳亭録  
早八編 國貞画

地本双紙問屋

南傳馬町目  
萬屋吉藏板

